

平成23年度 学校経営の改革方針

三重県立昴学園高等学校

I 目指す学校像（基本理念）

昴学園＝「学び合う学校」

自ら学び、社会の変化に主体的に対応できる能力を育て、自己の可能性を追求する態度や資質を育成する。

人権尊重の精神に貫かれた人間の育成をめざす。

- 1 個性豊かな創造性のある人を育てる。
- 2 自主・自律の精神に満ちた人を育てる。
- 3 社会のルールを重んじ、責任感のある人を育てる。
- 4 人権を重んじ、友情を大切にすることを育てる。
- 5 国際社会に対応できる人を育てる。

II 現状と課題

1 本校は、平成7年に単位制総合学科・全寮制を基本コンセプトとする新しいタイプの高校として誕生し、三重県高校教育改革のパイロットスクールとして先進的な取組を展開してきました。学校生活の中心である授業に関しても、90分授業を取り入れるとともに、早期からシラバスや評価基準の作成・公表、教職員相互の授業見学とアクションシートの記入、外部への授業公開、生徒による授業評価、生徒自身の授業自己点検等を実施し、改善に努めてきました。平成21年度からは「共同の学び」（グループ学習により生徒が学び合い、理解・認識・思考を深める学び）の趣旨を導入し、生徒一人ひとりの学びを保障する授業を追求しています。

また、学校外での学習習慣の確立、基礎学力の定着・向上、授業規律の見直しは喫緊の課題であり、そのための取り組みを強化します。

2 総合学科としては県下で2番目に開設され、80名の定員ながら5つの系列を持ち、生徒の個性、興味、関心に応じた教科・科目を設置し、個性を伸ばし、多様な進路希望を実現しています。しかし、県下に総合学科を有する高校が8校になった現在では、本校の総合学科としての魅力は相対的に低下してきています。

今後は、総合学科教育の改善・充実を図るとともに、「昴学園再編活性化協議会」（平成22年10月発足）の協議を踏まえ、全寮制を活かした新しい高校のあり方も研究していきます。

3 本校の最大の特色は、全寮制にあります。本校の生徒寮「きらら」は遠隔地生徒対応の寮ではなく、県下各地から親元を離れ同世代の若者が集団生活を行うことにより、自立性・社会性などの人間的な成長を促す重要な役割を果たしています。今後は、寮での教育機能として生活規律の確立や学力の伸長の視点での取り組みを強化していきます。

また、生徒たちが県下各地からこの宮川の地を集まっていることを踏まえ、この地が「第2のふるさと」となるよう、地域との交流を一層すすめます。

III 中長期的な重点目標

- 1 「自ら学ぶ」「学び合う」を大切にした教育活動を展開します。
- 2 「生徒につけたい11の習慣」の定着に取り組めます。
- 3 自尊感情と共感する心を培います。

- 4 全寮制を活かした新しい学校のあり方について研究します。

生徒につけたい11の習慣	
1	人の話を聞くことができる
2	自分の考えを表現できる
3	「ありがとう」「ごめんなさい」が言える
4	規則正しい生活を送ることができる(早寝・早起き、朝ご飯)
5	相手の立場に立って考え、行動できる
6	あいさつができる
7	TPOに合わせて行動できる
8	基礎力診断テストでD2以上を取る
9	学校外で毎日1時間以上勉強する
10	クラブ活動に参加し、努力する
11	月に一冊以上本を読む

IV 本年度の計画

1 改善策

(1) 自主自律と規律(基本的な生活習慣の確立)のバランスを大切にします。

①主体的に学び、考える力や自他を愛する心の育成に取り組みます。

(「共同の学び」の定着、キャリア教育の推進、地域連携・外部人材の活用、人権教育・特別支援教育の充実等)

②学習習慣の定着と基礎学力の定着・向上の取組について、各々別個に扱い、具体的目標を設定し、授業と連結させながら進めていきます。

(「身につけよう11の習慣」の励行、授業の課題)

③学校・家庭・寮での生活習慣・マナー・ルールを身につけさせます。

(授業規律、遅刻防止、制服着用、朝食の喫食、迷惑行為防止、携帯マナー等)

(2) 全寮制・現状の施設設備を活用した新しい学校のあり方について、引き続き研究を進めます。

(「すばる21」、「昴学園再編活性化協議会」の活用)

(3) 業務の効率化を図り、教職員の不満や疲労を解消し、やりがいに結びつけます。

2 各部行動計画

1 「自ら学ぶ」「学び合う」を大切にされた教育活動を展開します。

(介護福祉系列)

(1) 介護専門職としての思考力を持つことや、介護員研修の修了を目指し、自ら学ぶ姿勢を身につけ自己実現することを目指します。

【達成状況の指標】 介護員研修修了率で評価します。

(2) チームワークを大切に、学習活動に取り組む姿勢を身につけます。

【達成状況の指標】 系列行事などの参加率で評価します。

(3) 福祉について多角的に考えられるよう講演会・講習会を校内で企画、また、校外のイベントを生徒に紹介します。

【達成状況の指標】 行事企画率で評価します。

(美術工芸系列)

(1) 系統立てた学習内容の確立

授業において系統立てた学習内容を確立し、学習指導、学習環境の整備を行い、学習意欲、学習効果の向上をめざします。

- 【取組状況の指標】①教材の充実、学習体制と学習環境の整備に努め、生徒の学習意欲と学習効果の向上をめざします。
②1年生へ系列のガイダンスと体験授業を行い、系列選択に先駆けて生徒の学習意欲の向上に取り組みます。
③美術系進学希望者の意欲向上と、大学進学への動機付けとして、美術大学教員による出前授業を行うなど進学支援に取り組みます。
④年間2回以上の作品展を開催します。

(美術工芸系列・美術部作品展および昇祭)

(学校経営グループ - 総務部)

(1) 「共同の学び」の理念を取り入れた授業研究の質を深化させます。

【取組状況の指標】 全職員が年間3回以上校内公開研究授業・授業検討会に参加します。教務部と連携し、全体研修会の企画・運営の工夫等取組を推進させます。

【達成状況の指標】 教職員が「共同の学び」の具体的な手法を有効に活用する場面が増える。具体的な手法とは、4つの要素①授業目標の明示②個人の活動③小グループの活動④表現の共有を授業に取り入れることである。生徒情報の共有がより一層図れる。生徒の学習活動への意欲・満足度、また教職員の仕事に対する意欲、満足度が向上する。

(学習支援グループ - 教務部)

(1) 生徒一人ひとりが自分の進路を見据え学習できるように、科目選択ガイダンスの充実を図り、進路実現への意識を高めます。

【取組状況の指標】 「産業社会と人間」「ドリカムI」「LHR」を活用し、生徒の進路実現のための科目選択を学年団と協力してサポートします。

(2) 新学習指導要領の実施をふまえ、平成24年度入学生の教育課程を策定します。

(学級経営グループ - 1学年)

(1) 学習習慣の確立を目指します。

【取組状況の指標】①授業での学習活動に積極的に取り組む姿勢の確立を目指します。
②寮や自宅での自主学習の定着をはかります。

(学校運営グループ - 事務・現業)

(1) 生徒一人ひとりが「学び合う学校」を目指して活動できるよう安全で快適な学習環境づくりに取り組みます。

【取組状況の指標】①学校巡視を定期的に行い(週1回)、早期修繕に取り組みます。
②予算措置が伴う修繕については、関係者との早期協議により計画的な修繕に取り組みます。

(2) 緑豊かな敷地内を清潔に保ち、安全で安心して学園生活をおくれる環境づくりを目指します。

【取組状況の指標】①ゴミ分別の推進と啓発に努めます。
②四季の花木の植栽に努めます。
③除草剤使用を出来る限り控えます。

(3) 生徒や教職員に親しみやすく信頼される職場環境を目指します。

- 【取組状況の指標】①総務事務システムが円滑に稼働するよう支援します。
②在校生への証明書等発行事務の迅速化に努めます。(原則、即日)
③事務室職員は名札を励行し、来室者等への親切な対応に努めます。
- (4) 省エネ対策(前年度の1%削減)の取り組みにより各自の環境意識の醸成を図ります。
【取組状況の指標】 省エネ対策(電気料、水道料、コピー使用料)の情報共有を図ります。

2 「生徒につけたい11の習慣」の定着に取り組みます。

(介護福祉系列)

- (1) 系列での学習等を通じ、将来の社会人としてのマナーや姿勢を身につけます。

【達成状況の指標】 授業などの忘れ物率で評価します。

- (2) 就職や試験などに対応できる国語力を中心とした基礎学力の向上を目指します。

【達成状況の指標】 定期テストの得点率で評価します。

(国際交流系列)

- (1) 進路実現につなげるべく、多くの生徒に英語検定等の資格を取得させます。

【取組状況の指標】 英語検定各回で15名・3回合計で45名を受験させます。

【達成状況の指標】 英語検定各回で5名・3回合計で15名を合格させます。

(環境技術系列)

- (1) 生徒の自己実現のため、各種の資格取得を目指します。

【取組状況の指標】 出来るだけ楽しく、わかりやすい授業を展開し、各種資格取得を目指します。

【達成状況の指標】 危険物取扱者 延べ人数5名以上合格

車両系建設機械運転 100% 測量士補 2名以上合格

2級土木施工管理(学科) 2名以上合格

(学校経営グループ - 総務部)

- (1) 各部方策の見直し検討を進め、定着に向けた取組を強化します。

【取組状況の指標】 各部が方策を示し、今年度行動計画等に反映させます。

【達成状況の指標】 生徒にアンケート調査を実施して、定着度を測ります。

(学校経営グループ - 寮務部)

- (1) 「生徒につけたい11の習慣」の定着、自尊感情と共感する心の涵養にむけて以下の行動にとりくみます。あわせて「自立する『個』がつながりあう寮」をめざし、寮運営を推進します。

- ①相手の立場に立って考え行動できるよう、サークル活動や委員会活動、個別面接等の充実をはかります。

【達成状況の指標】 活動内容・回数や参加人数で取組状況を把握し、生徒へのアンケート結果等で評価します。

- ②主体的な学習習慣の確立を図るため、「学習タイム」を充実させ、環境整備につとめます。

【達成状況の指標】 2、3年生は、実施回数と「学習のあしあと」で取組状況を把握し、取り組みを評価します。

- ③早起き、朝食の生活習慣をめざし、さまざまな機会を通じて寮生に働きかけます。

【達成状況の指標】 朝食をとった寮生の割合で評価。100%をめざします。

- ④地域との関わりを深めるとりくみを充実させます。

【取組状況の指標】 地域のボランティアへの参加、地域の文化・自然に親しむ機会を

寮生に提供します。

【達成状況の指標】 取り組みの回数、内容、参加人数、生徒の感想等で評価します。
(学習支援グループ - 教務部)

(1) 授業規律を身につけしっかりと授業に取り組む姿勢と態度を涵養します。

【取組状況の指標】 ①真面目に一生懸命授業に取り組む生徒を全力でサポートするとともに、授業規律を乱す生徒に対して「イエローカード」を生徒指導部・学年部と連携して積極的に活用し指導を行う。教員には現職教育や非常勤講師オリエンテーションで、生徒には集会や新入生オリエンテーションで周知する。

②10分間テストを原則全座学の授業に取り入れ、基礎学力定着と学習習慣の確立を目指すとともに、日々の授業に真剣に取り組む姿勢を身につける。

③授業や考査などの学習活動を通して自律の精神を養う。

(生活支援グループ - 生徒指導)

(1) 日常より対話を中心とした生徒指導により、基本的な生活習慣・マナーの確立、生徒の自治活動の活性化をはかります。

【取組状況の指標】 ①日常の対話、講話、生徒会との連携に取り組みます。

②行事・校外学習などの服装、頭髪指導を早い段階で学年団と連携して取り組んでいきます。

【達成状況の指標】 特別指導の件数減少、クラブ員の増加につながります。

(進路支援グループ - 進路指導)

(1) 基礎学力の充実、自己表現能力の向上、キャリア教育の推進を図り、生徒の進路希望の実現を可能にします。

①基礎力診断テストを実施し、基礎学力を高めることをサポートします。

【達成状況の指標】 目標ランクD2以上等

②3年間を通して、キャリア教育を進めます。

【達成状況の指標】 意識調査等

③面接指導により、コミュニケーション力のアップを図ります。

【達成状況の指標】 実施回数等

④進路相談の充実を図ります。

【達成状況の指標】 実施回数等

⑤生徒・保護者・職員への進路情報発信に努めます。

⑥外部のキャリア教育支援事業を積極的に活用します。

【達成状況の指標】 生徒・職員向け事業等への参加等

⑦新たな進路先の開拓に努めます。

【達成状況の指標】 企業数・学校数

(学級経営グループ - 1学年)

(1) 基本的な生活習慣・マナーの確立を目指します。

【取組状況の指標】 ①朝食をとる、遅刻をしない、などの基本的な生活習慣の身についた生徒に育てます。

②挨拶や掃除のきちんとできる公共心に富んだ生徒の育成を目指します。

(学級経営グループ - 2学年)

(1) 一人ひとりの進路実現の為に、基礎学力の向上を目指します。

【取組状況の指標】 隔週のドリカムⅠを毎週実施し、各進路別・系列別に応じた学習会を実施します。

【達成状況の指標】 進路部主催のベネッセ・基礎学力診断テストで、全員D2以上を目指します。

(2) 規律ある学校生活を送り充実した授業展開を目指します。

(学級経営グループ - 3学年)

(1) 総合的な学習の時間「ドリカムⅡ」の中でSPIと英、数、国のドリル問題に取り組みせ、一人ひとりの学力の充実と進路実現を図ります。

【取組状況の指標】 ほぼ毎時間SPIとドリル問題に取り組みます。

【達成状況の指標】 ①基礎力診断テストで全員D2以上を目指します。

②全員に模試を年間3回以上受験させます。

③全員の進路実現を目指します。

(2) 明るく、規律ある学園生活を送ります。

【取組状況の指標】 学校行事への全員参加を目指します。

【達成状況の指標】 ①生徒指導上の問題行動ゼロを目指します。

②朝の朝食摂取率100%を寮務部と連携しつつ目指します

3 自尊感情と共感する心を培います。

(介護福祉系列)

(1) 幅広い福祉的な体験を通して、充実感・達成感を味わい、地域社会に貢献できる人間になることを目指します。

【達成状況の指標】 ボランティア活動の参加率で評価します。

(国際交流系列)

(1) 校内・校外の活動を通じて、生徒が国際感覚を養います。

【取組状況の指標】 海外短期語学研修を実施し、帰国後に研修の効果を全校生徒に還元します。

【達成状況の指標】 英会話サークル・授業「国際交流」「英語表現」「ビジネス英語」の中で、毎回、ALTシネイド先生を通じて、国際交流に関する知識・情報を伝えます。

(学習支援グループ - 人同推部)

(1) 学校全体の人権意識を高める環境づくりを行います。

(2) すべての生徒が安心して過ごせる環境づくりを行います。

(3) 生徒が自尊感情を大切にできる環境づくりを行います。

(4) 生徒がお互いを認め合いお互いを大切にできる環境づくりを行います。

(5) 教職員と生徒がともに課題解決に取り組む環境づくりを行います。

【取組状況の指標】 ①2回の全校討論会で、生徒アンケート・職員アンケートともに80%以上の良い回答を得ます。

②以下3つの活動内容を、参加生徒を通じて、2回の全校討論会で全校生徒に還元します。

○授業「人権と平和」の内容を充実させます。

○サークル「人権問題研究会」の生徒を、人権サークル交流会に毎回参加させます。

○大台中高生の集いに生徒を毎回参加させます。

③HR面談週間・寮での面談と人同推部との連携を密にする。

④職員1人1回研修の実施

(学習支援グループ - 図書部)

(1) 生徒一人ひとりが、豊かな感性を育むため、さまざまな教育活動において利用を促進し、読書センター、学習センターとしての機能を高めていきます。

- 【取組状況の指標】①図書館の利用を促進するため、図書委員活動を活発にし、「図書館だより」を発行します。
- ②県立学校資料共有総合図書管理システム「くまたろうの森」を積極的に活用させ、図書館資料の利用の増加を図ります。
- ③図書館の利用指導を徹底し、利用マナーの確立を図ります。
- ④開かれた学校づくりを目指し、図書資料の地域開放に努めます。

(学級経営グループ - 1学年)

(1) 人の立場に立って考え、行動できる集団づくりを目指します。

- 【取組状況の指標】①行事などに積極的に参加し、人のために動ける生徒の育成を目指します。
- ②思いやりのこころの涵養につとめます。

(学級経営グループ - 2学年)

(1) 修学旅行等学校行事を通して、人権感覚豊かな仲間作りを目指します。

4 全寮制を活かした新しい学校のあり方について研究します。

(介護福祉系列)

(1) 今後の生活福祉系列のあり方について研究を進めます。

(学校経営グループ - 総務部)

(1) 「すばる21」を積極的に活用して、今までに培った魅力の伸長、新たな魅力化の追及等研究を進めます。また、全寮制・既存の施設設備を活用した、総合学科に拘らない新しい学校のあり方についても、「すばる21」や「昴学園再編活性化協議会」等で協議を重ね、今年度中に方向性を示します。

- 【取組状況の指標】①新しい学校の設置理念や教育内容について、校内で具体案を作成、協議会で検討し、素案をまとめます。
- ②素案の校内協議を重ねます。